

令和3年度 上半期の教育活動を振り返って

福島県立湖南高等学校長

向暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本校では、今年度の重点努力目標として、「生徒一人ひとりを真に大切にし、人間性の育成や能力の伸長と、地域社会から信頼される学校づくり」を掲げ、教職員一同、目標の実現に向けて努力しているところでありますが、これまでの教育活動の検証を行うために、上半期の教育活動を振り返り、全校生徒及び教職員を対象にアンケート調査を行いました。そのアンケート調査結果は、以下のとおりですので、ご参照ください。

今後は、このアンケート調査結果から見えた課題の克服に向け、教職員一同、努力して参りますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

【上半期 学校評価アンケート結果】

		生徒(%)			教員(%)			
		肯定的評価 (A+B)	昨年度 上半期	傾向	肯定的評価 (A+B)	昨年度 上半期	傾向	
重点1	1	学校生活は充実しているか	79.2	91.5	↓	96.2	100.0	—
	2	授業は分かりやすいか	92.5	83.1	↑	100.0	100.0	—
	3	朝の学習により学力は向上したか	75.5	86.4	↓	88.0	86.4	—
	4	宿題や課題は提出したか	58.5	61.0	—	43.5	45.5	—
	5	家庭学習に取り組んだか	69.8	84.7	↓	37.5	45.5	↓
	6	読書の習慣がついているか	43.4	27.1	↑	88.0	91.3	—
重点2	7	LHRや総合的な探究の時間には積極的に参加したか	84.9	86.4	—	100.0	95.7	—
	8	進路に関する行事がなされたか	88.7	88.1	—	100.0	95.7	—
	9	個に応じた進路指導がなされたか	66.0	67.8	—	92.3	95.7	—
	10	生徒は自己実現に努めたか	54.7	63.8	↓	88.5	87.0	—
	11	生徒は資格取得に取り組んだか	52.8	47.5	↑	88.5	91.3	—
重点3	12	きちんとした服装や髪型ができたか	77.4	86.4	↓	84.6	95.8	↓
	13	きちんとした挨拶を行っているか	67.9	83.1	↓	69.2	83.3	↓
	14	学校の決まりや社会のルールを守ったか	77.4	93.2	↓	84.6	95.7	↓
	15	部活動や委員会活動等に熱心に取り組んだか	69.8	88.1	↓	88.5	73.9	↑
	16	毎日、清掃活動に取り組んだか	86.8	93.2	↓	92.3	100.0	↓
重点4	17	『湖南高校だより』など、学校の配布物を渡しているか	69.8	67.8	—			
		『湖南高校だより』など、学校の配布物は学校の状況を伝えているか				100.0	95.7	—
	18	ボランティア等の行事に積極的に参加したか	66.0	70.5	—			
		ボランティア等の行事は地域に貢献しているか				100.0	100.0	—
	19	自分の関わる地域に興味・関心を持っているか	64.2	74.6	↓			
		生徒は、自分の関わる地域に興味・関心を持っているか				92.3	78.3	↑
	20	自分の関わる地域を理解しているか	67.9	67.8	—			
地域理解のための機会づくりをしているか					100.0	100.0	—	
21	社会貢献の意欲を持ち、社会をより良くするための行動をしようと思う	81.1	83.1	—				
	信頼される学校作りに努めているか				100.0	95.8	—	
22	コミュニティ・スクールとして地域の特色を生かした学び・学校づくりをしているか	71.7	70.7	—	100.0	100.0	—	

※ 『傾向』の欄は、昨年度と比較して、5%以上増減があったものを矢印で表示している。

※令和3年7月実施

【アンケート結果分析】

- 生徒の79.2%が学校生活に満足しているとの評価である。
- 生徒の92.5%は授業がわかりやすいと感じており、昨年度同期比約9ポイント上がった。
- 朝の学習で学力が向上したと感じる生徒の割合が昨年度同期比約11ポイント下がった。朝の学習内容と実施計画をより効果的に見直したものの、主体的に取り組むことができるようにすることが求められていると考えられる。
- 家庭学習への取組に関しては生徒評価は69.8%、教員評価は37.5であり、昨年度同期比で生徒は14.9ポイント、教員は8.0ポイント下がった。授業の充実させるために家庭学習に向かわせる指導が求められていると考えられる。
- 読書の習慣化については生徒評価は43.4%と昨年度同期比16.3ポイント上がったものの、生徒の読書離れが課題である。
- LHRや総合的な探究の時間等への参加、進路関連行事の取組については、生徒、教員ともに高評価である。
- 個に応じた進路指導に関して、教員評価92.3%に比して生徒評価は7割弱である。生徒の特性や発達段階に応じた指導を継続していく必要がある。
- 生徒の資格取得に取り組む割合は上がったが、自己実現に努めている割合は下がった。
- 生徒、教員ともにきちんとした服装や髪型ができていると感じている割合が比較的高いが昨年度同期比は下がった。
- 生徒、教員の約7割が、きちんとした挨拶をしていると感じているが昨年度同期比は下がった。
- 生徒の77.4%、教員の84.6%が、学校の決まりや委員会活動に熱心に取り組んでいるが生徒、教員ともに昨年度同期比では下がった。規範意識を定着させる日常指導の実践が求められている。
- 生徒の69.8%が部活動や委員会活動等に熱心に取り組んでいる。昨年度同期比18.3ポイント下がり、これは今回の調査において最大の下落幅である。教員においては14.6ポイント上がっており、生徒との意識にズレが生じている。
- 毎日の清掃活動の取組については生徒は86.8%、教員は92.3%と高い割合である。引き続き、清掃に対する意識と行動の改善が見られる。
- 「湖南高校だより」など、学校の配布物を渡している生徒が69.8%である。
- 自分の関わる地域に興味・関心を持っている生徒が64.2%、教員は92.3%であり、昨年度同期比で生徒は10.4ポイント下がったが、教員は14.0%上がった。生徒との意識にズレが生じている。
- コミュニティ・スクールとして地域の特色を生かした学校づくりをしていることについての教員評価は100%だが、地域の特色を生かした学びをしていることへの生徒評価は71.7%である。引き続き授業や行事を通して湖南地域の良さや魅力に気づくことができる場の工夫が必要である。

【下半期に向けて】

今回のアンケート結果を踏まえ、次のような点を重点事項として取り組んでいくことを考えております。

- (1) 生徒の家庭学習習慣の更なる定着を図るために、宿題や課題を出すとともに手帳に学習時間を記録させるなど、自己管理と自主性を促す。
- (2) チャイムからチャイムまでの授業実践や挨拶の励行などを通して基本的な生活習慣や規範意識の確立に努める。
- (3) 授業や学校行事を通して、学校への愛校心を育て、自分の関わる地域をより理解することができる工夫をする。
- (4) 読みやすい、親しみやすい広報紙、ホームページにするための工夫をする。
- (5) 保護者へ文書が渡るように生徒への指導徹底を行うとともに、配布文書に関して、事前にメールで保護者へ通知をする。
- (6) 地域とともに、地域ならではの魅力あるコミュニティ・スクールであるために、地域の人的・物的資源を生かした教育活動にすることができる工夫をする。

【あとがき】

令和3年度はコミュニティ・スクール2年目となります。22名の新入生を迎え、生徒たちは毎日、元気に、楽しく学校生活を送っています。

さて、まもなく夏休みとなります。夏季休業中、本校では生徒への進学や就職のための課外学習、学力アップ学習会などを計画しています。お子様の自己実現のためにも、積極的に参加するようお声がけをお願いします。

また、夏休みは、学校がある日常生活と異なり、生活のリズムが乱れがちです。お子様が規則正しい生活を送り、この長期間の休みが有意義なものになるよう保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。